

30302機械器具設置工事業における死傷災害100事例まで（2019年）

No	年	月	発 生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	起因物 (小)	労働 者規 模
1	2019	1	16 ～ 17	会社倉庫でタイヤの整理中、タイヤを持ち上げて積み上げようとしたとき、急性腰痛症を発症した。	57	19	611	1～9
2	2019	1	12 ～ 13	複数の吊り具を設置して枠セットシリンダー本体を機外に取り出す作業中、一部の吊り具を下げたところ、本体が動き枠がずれて落下して当たり背骨を折った。	26	4	372	1～9
3	2019	1	9 ～ 10	当社工場にて、窒素ボンベ（空き瓶）を移動する作業にて、ボンベ専用の台車に載せようとした際、足下に雪があり足を滑らせ転倒し、ボンベが倒れて右足の内膝あたりに強打した。	47	2	417	10～ 29
4	2019	1	14 ～ 15	倉庫で片付けをしていたとき、約20kgの鉄パイプのネジ切り機を動かそうと床から持ち上げた際、椎間板ヘルニアを発症した。	39	19	611	1～9
5	2019	1	14 ～ 15	機械倉庫にて、作業で使用する機械を搬出する際、脚立に上り棚の上部の物を下ろしていたところ、脚立より落下し、足から着地したものの衝撃が大きく膝を痛め、半月板損傷を負った。	48	1	371	30～ 49
6	2019	1	14 ～ 15	発電所構内で、スタッカ・リクレーマ（炭受払機）のレールクランプの固定操作中、レバー軸上に設置してあるクランプウエイトが、急に被災者の方へ移動した。被災者が後ずさりしたところ、道床を踏み外して1.2m下の貯炭場に転落し、左手首と左股関節を骨折した。	64	1	169	50～ 99
			10	コンクリート屑置場にて、駐車場へ向かう途中、石の上に足をつ				

7	2019	1	11	～	き、バランスを崩して転倒した。その際、左足をひねり骨折した。	62	2	523	1～9
8	2019	1	17	～	北海道出張から帰宅中、空港の駅から航空会社チェックインカウンタへ向かう際、転倒し柱に左半身を強打し、左頬骨を折り、左	48	2	921	1000 ～ 9999
9	2019	1	18	～	19	18	2	413	300 ～ 499
10	2019	2	16	～	17	60	2	417	30～ 49
11	2019	2	10	～	11	50	4	379	10～ 29
12	2019	2	14	～	15	51	1	418	50～ 99
13	2019	2	8	～	9	41	1	371	1～9
14	2019	2	16	～		40	19	921	1～9

			17	し、左腕を骨折した。				
15	2019	2	16 ～ 17	事業所前のトラック駐車場で、4tトラックのキャビン上部に設置したシート受け（高さ約2.7m）に荷台シートの収納作業中、バランスを崩して滑り落ち、左足首を複雑骨折した。	56	1	221	10～ 29
16	2019	2	10 ～ 11	折半屋根上で点検作業中にバランスを崩し、小雨で滑りやすい状態であったために、転んで地面に落下し、右急性角膜外血腫、前頭骨骨折、両側橈骨遠位端骨折の負傷となった。	19	1	415	1～9
17	2019	2	9 ～ 10	自社1階駐車スペースで、ワゴン車での工具等の積み降ろし作業中、誤ってスライドドアに右小指を挟み骨折した。	51	7	231	10～ 29
18	2019	2	8 ～ 9	会社倉庫内作業中にシートを棚に片付けようとしたところ、シートの下にあった機械にシートに紐が引っ掛かっていることに気付かずシートを引っ張ったため、機械が滑り、その際足を挟み、左足親指を骨折した。	49	4	611	1～9
19	2019	2	10 ～ 11	配送センターでエレベーター修理工事中、取換部品をカゴ上梁の不安定な場所に置いていたため、部品が落下した。その際、ピット内いたためその部品が直撃し、腰椎および胸椎を骨折した。	35	4	521	1～9
20	2019	2	9 ～ 10	砂利プラントで、フックで吊った給鉦フランジの取り付け作業中、フランジに載った足の位置がずれて、右足が本体とフランジに挟まれ、安全靴の鉄板の境の右足小指を骨折した。	50	7	211	1～9
21	2019	3	16 ～ 17	ダンパーモーターを修理した後、架台に置いていたボルトを片付けようとして回転中の機械に右手が挟まれた。その際に皮手袋を着用していたが、人差し指を切断し、中指と薬指を骨折した。	58	7	121	1～9
22	2019	3	10 ～ 11	現場内の休憩所へ移動の際、置いてあった枕木に気付かず、足を取られ転倒した。その際、足首をひねって骨折した。	46	2	418	10～ 29
			0					

23	2019	3	1	焼却炉内で耐火煉瓦解体作業中、解体範囲の煉瓦が滑落し、被災者の手に当たり左小指を骨折した。	28	4	341	50～ 99
24	2019	3	17 ～ 18	工場での監督業務が終わり事務所へ戻る途中、信号のな交差点で右方から衝突されて、右鎖骨と肋骨を折った。	50	17	231	1～9
25	2019	3	14 ～ 15	新規JB点検台取り付けのケガキ作業を行うため、ビティ足場側面の垂直はしごを右手にサシ金を持ち登っていた。その際、足場2～3段に掛かる垂直はしご3段目（2.4m）から点検台（2.8m）に足を掛け、単管+足場板の作業床に移ろうとした。そのとき、固縛されずに仮置きされていた単管に左手を掛け体重を掛けたところ、単管が下がりバランスを崩し、自ら地上に飛び降り右足踵を骨折した。	52	1	411	1～9
26	2019	3	15 ～ 16	工場の屋上で、現場確認作業中、強風で図面が飛散し回収していたところ、デッキプレート上でつまずき転倒し、左手をつき左手首を骨折した。	71	2	379	30～ 49
27	2019	4	15 ～ 16	工場にて、リサイクルプラント架台上で、熱風焔道の取付作業中、足下の開口部（50cm×50cm）に足を取られ、右大腿部・左脛に挫創を負った。	46	1	418	1～9
28	2019	4	13 ～ 14	倉庫内にて、機械をワイヤーロープで牽引中、フォークリフトと機械の間を通過する際、ワイヤーロープに足を引っ掛け転倒した。その際、右膝後十字靭帯を損傷した。	46	2	379	10～ 29
29	2019	4	9 ～ 10	材料置き場兼駐車場で、脱水機架台製作に使うための鉄骨の積み込み作業中、鉄骨が荷崩れを起こしそうになり、慌てて手で押さえようとして、鉄骨に右手首を挟まれ受傷した。	51	7	521	1～9
30	2019	4	14 ～	社外倉庫から会社内倉庫に1.5tフォークリフトをトラックに載せて回送した。トラックからフォークを荷降ろししているとき、荷ぶれをしてリフトが前方に動いたので、咄嗟に振れを止めようと	21	7	212	10～ 29

			15	右手を出したところ、トラック前方に積んであったパン木（角材）とリフトの間に挟まれ指の靭帯損傷した。				
31	2019	4	15 ～ 16	新築工事現場にて室内配線作業中に木製銅縁に配線の穴を開けるため、インパクトドリルを使用中、釘にドリルの刃が当たり穴が開かないため、力が入るよう体勢を変えた際、左手首に回転中の刃が刺さり動脈および神経を断裂した。	32	8	169	1～9
32	2019	4	14 ～ 15	ラックを束ねているスチールバンドを番線カッターで切断したところ、バンドが切れた反動で跳ねて左目に当たり角膜裂傷を負った。	45	4	521	1～9
33	2019	4	11 ～ 12	脚立に乗り天井埋め込み式のエアコンを外す際に誤って転落し、左腕を骨折した。	28	1	371	1～9
34	2019	4	7 ～ 8	事務所構内で、人員配置について不満を持った加害者と口論となり、左顔面を殴られて負傷した。	60	90	911	10～ 29
35	2019	5	13 ～ 14	火力発電所建設工事中、加工に使用していたカッターナイフの刃がグリップ内に収まっていなかったため、誤って左手前腕に切創を負い、腱と神経に損傷を負った。	61	8	364	100 ～ 299
36	2019	5	15 ～ 16	事務所1階倉庫を整理していた際、倉庫前の駐車場でつまずいて転倒し、コンクリート面へ左膝を打ち靭帯を損傷した。	57	2	417	10～ 29
37	2019	5	16 ～ 17	トラックの荷台を掃除していて、端に寄り過ぎて1m程の高さから落下し、右足踵を骨折した。	66	1	221	1～9
38	2019	5	8 ～ 9	配管撤去作業中、配管を切断する者と押さえる者が分かれて作業中、切断した瞬間に配管が傾き、体を寄せ支えようとした際、セイパーソーの刃に歯茎が当たり、口腔内の挫創を負った。	41	8	169	1～9

39	2019	5	9 ~ 10	ボイラーペントハウス内で、4次過熱器管レグ管の溶接作業中、上部管寄せから足場クランプが落下し、右手甲に当たり打撲を負った。被災当時、管寄せ上部に土のう袋に入ったクランプが置かれており、袋の口が開いていたため、移動中の他作業員が袋に当たり落下した。	34	4	521	10~ 29
40	2019	5	15 ~ 16	水再生センター汚泥焼却炉設備内で、16mフロアの鉄骨部材（梁・ブレス）の取り付け作業中、仮設はしごの撤去を実施していた。そのとき、下部のラッシングベルトを外した状態ではしごを登り、上部のラッシングベルトを緩めてしまったため、はしごとともに約0.6m滑り落ち、直下の大梁上の床材取り付け部材に接触し、左大腿部に挫傷を負った。	46	1	371	1~9
41	2019	5	16 ~ 17	美容室のエアコン入れ替え工事現場にて作業終了後、荷物を階段で降ろしているときに、地上から6段目位で足を踏み外し、着地に失敗し右足首を骨折した。	40	1	413	1~9
42	2019	6	16 ~ 17	太陽光設備工事が終了し、片付けを行っていたときに高さ約1mの法面から落下した。その際、境界棒として設置してあった鉄筋が太腿に刺さり負傷した。	22	1	417	1~9
43	2019	6	10 ~ 11	出先の管理施設にて、垣を飛び越えて出ようとしたところ、着地の際に右足踵を骨折した。	70	3	711	10~ 29
44	2019	6	11 ~ 12	工事資材取り込みのために既設作業デッキに作った開口部から転落し、ひ臓、左肋骨、左鎖骨を負傷した。	38	1	416	50~ 99
45	2019	6	10 ~ 11	撤去したバッテリー（58kg）を車両に積み込むため、両腕で抱え1人で運搬中、段差箇所を下りた際、バランスを崩して転倒し、右足を脱臼骨折した。	24	2	417	10~ 29
46	2019	6	20 ~	工場では鋼材を片付ける際、誤って右人差し指を挟み骨折した。	29	7	521	30~

			21						49
47	2019	6	14 ～ 15	スーパーのテナント店で、天井エアコンの入れ替え作業中、脚立がぐらつき転倒した。その際、頭部を強打して脳震とうを起こし、頸部に損傷を負った。	41	1	371	1～9	
48	2019	6	15 ～ 16	リフト降り場にて、押送チェーン sprocket 側の取り付けボルトのカバーがゆがみ、ボルト穴にボルトが通らなかったため穴に合う方向へレバーブロックで引き上げることにし、作業に必要なスリングを取るために機械回りを移動した。その際、押送チェーンのレール部分に足を掛けたところ、作業中に付着した靴底の油分が原因で足を滑らせ、点検台と機械設備の間から直下の栈橋へ転落し、右股関節を骨折した。	44	1	416	1～9	
49	2019	6	15 ～ 16	空調機取付作業中、脚立から足を滑らせ、バランスを崩し落下し、左足薬指と小指を骨折した。	52	1	371	1～9	
50	2019	7	10 ～ 11	小学校の空調設備整備工事にて、学校敷地外の日陰のない道路脇で、しゃがんで煙草を吸っていたが、休憩終了後、立ち上がる際、意識を失い、脱水症状となった。	57	11	715	1～9	
51	2019	7	11 ～ 12	工場内で、機械部品を製作時、定板の上で鉄板溶接をするために鉄板を倒す際、右足を誤って挟んで、右足親指付け根を骨折した。	71	7	521	1～9	
52	2019	7	14 ～ 15	改築工事にて、スライド丸鋸で軒天下地（1寸2分角、長さ1尺5寸）を加工中、木材を押さえていた左手が誤って刃に触れ、左手甲の付け根を切り負傷した。	24	8	131	1～9	
53	2019	7	7 ～ 8	自転車で下り坂を走行中、スピードが出すぎて三差路を左折したとき、制御できなくなり電柱に衝突して頭蓋骨を折った。	55	17	239	100 ～ 299	
			11						

54	2019	7	～ 12	配管工事をしていたとき、脚立から転落し、頭部、背中を打ち、脳挫傷を負った。	60	1	371	1～9
55	2019	7	～ 14	製品機械の整備作業の際、ラッカーシンナーで製品を掃除後その製品をサンダーで整えていたが、火の粉が作業服（熱中症対策のエアチューブを使用する作業服）に当たり引火し、背中、腹部、肩、腕に火傷を負った。	79	11	512	1～9
56	2019	7	～ 11	トラックの荷台で機材を移動中、工具箱につまづき右橈骨遠位端を折った。	42	2	611	1～9
57	2019	7	～ 9	8 吹き抜け窓に掛かっているすだれを、はしごを使って1人で外そうとしてバランスを崩し、横にあった階段の踊り場に飛び下りた。 9 その際、右足踵に打撲を負った。	30	1	371	10～ 29
58	2019	7	～ 23	22 高速道路走行中、スリップし左側壁に衝突、横転して、右手を負傷した。 23	47	17	231	1～9
59	2019	7	～ 11	10 被災者である当社従業員は、食品機材の分解および搬出作業を行っていた。機材を搬出後、屈んで床の清掃を行い立ち上ったところ、残っていた配管に額を強打し、4cm程の裂傷を負った。 11	62	3	419	10～ 29
60	2019	7	～ 14	13 小学校校舎入口付近にある階段を下りていた際、下から3段目位で足を踏み外し、着地したとき、左足首をひねり捻挫した。 14	22	1	413	100 ～ 299
61	2019	7	～ 10	9 自社倉庫内で、社用車の天井のホコリを清掃するため、フォークリフトにパレットを装着しパレット上に乗り上昇したところ、バランスを崩し転落し、左大腿部を骨折した。 10	47	1	222	1～9
62	2019	7	～	エレベーター機械室にて、エレベーターの改修作業準備中、469kgの巻上機が乗った台車を移動する際、台車の左前輪が床面のダクト内に落ちてバランスを崩し、巻上機が倒れた。その際、手を	18	7	214	1～9

			10	出し、巻上機と制御盤の間に左手指（人差し指・中指・薬指）を挟み負傷した。				
63	2019	8	15 ～ 16	工場構内で自動調節弁の取り外し作業中に、4本のボルトを緩めたら、タンク内の残留液体が、右腕、右腹部、右太ももにかかって浸透し、薬傷を負った。	27	12	514	1～9
64	2019	8	11 ～ 12	ホテルのボイラー据え付け工事中、天井に打設していたアンカーボルトが外れ、アンカーボルトからチェンブロックで吊っていたボイラーが荷ぶれして右膝に接触して負傷した。	60	4	391	1～9
65	2019	8	9 ～ 10	作業場にて、パイプ管を電動充電式ドライバーで穿孔する作業中、パイプ管に電動ドライバーが引っ掛かり、右手が電動ドライバーに巻き込まれ、右手首付近を強くひねり骨折した。	75	7	169	1～9
66	2019	8	14 ～ 15	工事現場ではしごを使ってローリングタワーから下りていたとき、約1.5mの高さから飛び下りたところ、着地時にバランスを崩して頸部・腰部・右足踵を負傷した。	53	3	417	10～ 29
67	2019	8	16 ～ 17	受水槽のオーバーフロー管の取り替え作業中、脚立を使用し受水槽のはしごと脚立に足を掛け配管を切断しようとしたところ、バランスを崩し落下し背中を打って負傷した。	30	1	371	1～9
68	2019	8	19 ～ 20	リフト上部を修理するため、壁に設置された操作盤を足場にして作業していたところ、足場が崩れて落下した。その際、ステンレス板に右手を掛けたため右手人差し指と中指の腱を断裂し、挫創を負った。	43	1	416	1～9
69	2019	9	8 ～ 9	ユニットバス用の壁パネルを抱えて搬入中に、バランスを崩してパネルの木口と右手首が接触し、右手首裂傷を負った。	57	8	612	1～9
70	2019	9	11 ～ 12	現場にて、天井に取り付けるフィルター枠にビスを打ち付ける作業中、体のバランスを崩し、側面の壁に手をつき、左手首から左手小指を骨折した。	34	3	416	1～9

71	2019	9	11 ～ 12	工場内にて、はしごに登り電気配線作業中、腰道具が点検蓋に当たり、蓋（重さ3kg）が落下し、はしご下を通行中、落下した蓋が左足腿に当たり打撲した。	31	4	418	1～9
72	2019	9	18 ～ 19	次亜塩素酸ナトリウム配管接続施工後、接続部の液体漏れが確認され、応急措置として増し締めを行った際に、配管接続部から原液が飛び散り、右目に入り、有害化学物質による疾病を負った。	37	12	514	10～ 29
73	2019	9	10 ～ 11	運搬車両から資材を降ろそうとして、トラックラダーを後ろ向きに運搬中、地面の凸部でバランスを崩し、倒れそうになったため踏ん張った際に足をひねり、ラダーと一緒に倒れて負傷した。	47	19	371	10～ 29
74	2019	9	16 ～ 17	被災者は、17階中層エレベーター1号機乗り場からカゴ上へカウンターウェイトの運搬作業を3人組で行っていた。カウンターウェイト（約50kg）1枚目をカゴ上の上梁の上フランジに置いた。次に、2枚目を運搬していたところ、被災者が上梁の下フランジに足を掛けようとしたとき、バランスを崩して足を踏み外した。その弾みで、手に持っていたカウンターウェイトと1枚目のカウンターウェイトとの間で左手親指を挟み、付け根を骨折した。	48	7	521	10～ 29
75	2019	10	11 ～ 12	工場プラントでイオン交換樹脂塔の充填物を取り出す作業中、上部カバーを取り外したとき、内部の充填物と共に目皿（約70kg）が滑り落ちてきて、正面で支えていた被災者の右足に当たり骨折した。	22	4	212	1～9
76	2019	10	9 ～ 10	保守点検前に路上で準備していたとき、車から道具を取り出して車の助手席の扉を閉めたとき、右手薬指の指先を挟み骨折した。	46	7	231	30～ 49
77	2019	10	4 ～ 5	作業現場に持っていく工具類の準備中に、鉄骨が倒れてきて、作業台で左手を挟み、左手中指を骨折した。	45	5	521	1～9
78	2019	10	9 ～	重さ1トンの制御盤を台車で運搬中に、台車のずれを調整しようとしたら、制御盤が倒れて、足を挟まれ転倒し、右大腿骨挫傷、右	67	7	612	30～

			10	大腿筋群損傷および左足関節外果骨折となった。				49
79	2019	10	9 ～ 10	重さ1トンの制御盤を台車で運搬中に、台車のずれを調整しようとしたら、制御盤が倒れて、足を挟まれ転倒し、右大腿骨挫傷、右大腿筋群損傷および左足関節外果骨折となった。	27	7	612	30～ 49
80	2019	10	14 ～ 15	会社倉庫内にて、棚から分電盤を持って車に運搬中、足がよろけ転倒し、左膝を強打し、半月板を損傷した。	31	2	521	1～9
81	2019	10	10 ～ 11	作業が終わり撤去作業をしていたとき、グレーチングの蓋を持ち上げる際に小さな鉄片が右手薬指に刺さり、化膿した。	38	90	911	10～ 29
82	2019	10	9 ～ 10	排水処理施設内の機器を調査中、Vベルトを触診した際に着用していたゴム手袋が挟まれ指ごと巻き込まれ、右手人差し指の先を断裂するなど負傷した。	47	7	121	10～ 29
83	2019	10	10 ～ 11	取り外した高圧洗浄機の状態を確認するため、安全帯を外して移動した際、開口部（600×600）から約4m下のジャバラホース上に転落して肋骨を折った。	44	1	414	30～ 49
84	2019	10	9 ～ 10	炉に転落し、体全体に火傷を負った。	44	11	341	1～9
85	2019	10	14 ～ 15	資材置き場内で数本の油圧シリンダー内パッキンメンテナンス作業中、別のシリンダーへ移動中につまずき、手をつき、左橈骨遠位を折った。	64	2	416	10～ 29
86	2019	10	13 ～ 14	製鉄所コークス工場にて、既設ダクトに短管付フランジを取り付ける際の角度調整のときに、短管付きフランジが既設ダクトから抜け、水平レベル確認用鋼材が右大腿内側に接触して裂傷を負った。	37	6	521	1～9
				サポート取り付け業務を2名で作業中、長尺物を移動するため、グ				

87	2019	10	8 ～ 9	レーチング（1m×1.3m）を外し開口部を設けた。長尺物を2人では運搬できないため、被災者は応援に向かう途中、区画内の開口部に気付かず、約3.5m落下し、左肩甲骨・肺・肋骨・左中指を負傷した。	43	1	414	30～ 49
88	2019	10	10 ～ 11	自社の敷地内にて、歩行中、石に躓き転倒し、左手をつき負傷した。	20	2	417	30～ 49
89	2019	11	11 ～ 12	工場内で機械のボルトを緩める作業中、左手で持ったスパナをボルトに掛け、右手で持った鉄製のハンマーでスパナを勢いよく叩こうとした。そのとき、目測を誤り、左手親指をハンマーで思い切り叩いて骨折した。	30	7	364	1～9
90	2019	11	13 ～ 14	製作所工場で、油圧シリンダーにロッドヘッドを組み付ける際、油圧を抜いていたためシリンダーロッドが作動し、ロッドヘッドが落下した。そのとき、架台フレームの間に右手指を挟み、中指と薬指に挫傷を負った。	21	7	169	1～9
91	2019	11	16 ～ 17	モノレールのテストコースを作成中、ハンマーで支柱の打ち込みをしている際、ハンマーの柄と支柱の間に右手指が挟まった状態でハンマーを振り下ろしたため、人差し指第1関節を骨折した。	35	7	364	10～ 29
92	2019	11	7 ～ 8	宿泊先から現場に移動していた際、国道のトンネル付近を走行中、センターラインをはみ出して対向車と接触しトンネル左側壁に衝突して横転、更に軽自動車にぶつかって脳挫傷を負い死亡した。	63	17	231	1～9
93	2019	11	11 ～ 12	作業に必要な書類を取りに駐車場に向かって歩いている際に、対向車に気を取られて30km程度の時速で右折してきた車に衝突され、7m程引きずられた。胴体と肢体に骨折、気胸、捻挫、挫滅創および打撲傷を負った。	40	18	231	1～9
94	2019	11	14 ～	プレハブの壁を取り付ける際、脚立に上がったところ風に煽られ	37	3	371	10～

			15	てバランスを崩し、取り下りたときに左足踵を骨折した。				29
95	2019	11	18 ～ 19	2階の会社事務所から倉庫へ向かっていたときに、倉庫に通じる階段で足を滑らせ、階段に背中をぶつけて左第十肋骨を折った。	61	2	417	10～ 29
96	2019	11	14 ～ 15	測定室にて、X線検査装置の移動をするため、丸棒（16mm）を設備の下にし、フォークをウエイトにし、チェンブロックに設備を引き出す際、丸棒の上に爪ジャッキを乗せ引っ張り、丸棒がずれたので、爪ジャッキが外れた。その際、丸棒を設備下に入れ込もうとした作業員が、丸棒と設備の間に指を挟み、左手指を切断した。	44	7	222	30～ 49
97	2019	12	15 ～ 16	工場敷地内にある利敷きの屋外作業場で、ケーシングにプラットを取り付けた後、作業員5名がプラットに上がり、手すりを取り付けていた。そのとき、作業員がプラット上でバランスを崩し、単管柱とケーシング本体が倒れた。その際、プラット上にいた作業員も一緒に転倒して肋骨を折り、外傷性気胸が生じた。	67	1	419	10～ 29
98	2019	12	11 ～ 12	会社の倉庫にて仕事で使う道具の片付をしているとき、15kgほどのチェンブロックという道具を棚に片付けるため、それを持ち上げたら立つことができないうらい腰を痛め、腰痛捻挫を負った。	49	19	361	1～9
99	2019	12	16 ～ 17	補修工事で使用した鋼製テーブルを、クレーンを使用して片付けていたとき、吊り上げたテーブルが土台に触れて倒れた。その際、テーブルが被災者の足の甲に当たり骨折した。	21	3	211	10～ 29
100	2019	12	10 ～ 11	消火ポンプの流量計測を行うため、担当者の指示の下、3か所のバルブ開放操作を、1か所につき2名で実施していた。その際、バルブに設置した仮配管から排出した水の圧により、仮配管が回転し、被災者の腰に当たり腰部を骨折した。	55	6	391	100 ～ 299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例まで（2019年）](#)に戻る。